

#### 4.3 地下水位測定結果

地下水位測定は、ABトラック内の地下水流動特性を把握するために、既設の環境ボーリング孔を使用して、月1回の頻度で行った。

なお、ABトラック外周に設置してあるモニタリング孔(17箇所)とA井戸直近のNo.13孔、ABトラック中間のNo.55孔およびB地区直近のNo.163孔の計20箇所は自記水位計による観測を行った。

その他の観測孔については、手測りとした。

結果は地下水コンター図として以下の図にまとめた。

表 4.3.1 地下水位測定結果一覧表

図 4.3.1 地下水位測定結果(2004.8.6)

図 4.3.2 地下水位測定結果(2004.9.9)

図 4.3.3 地下水位測定結果(2004.10.21)

図 4.3.4 地下水位測定結果(2004.11.30)

図 4.3.5 地下水位測定結果(2004.12.7)

図 4.3.6 地下水位測定結果(2005.1.13)

図 4.3.7 地下水位測定結果(2005.2.7)

図 4.3.8 地下水位測定結果(2005.3.3)

図 4.3.9 自記水位計観測結果

以下、観測結果の概要をまとめた。

- ・ 地下水位の低い8月や9月においては、地下水の流動方向は概ねA井戸からB地区に向かう方向となった。
- ・ 10月に、過去10年で最も多い降雨量(月間降雨量)を記録し、地下水位は急激に上昇し、AB間中心付近を尾根として、南東方向と南西方向に分かれる流れとなった。
- ・ 11月以降、地下水位は、除々に下がる傾向にはあるものの、AB間を中心に分かれる流れが連続している。
- ・ なお、B地区より西方については、常時南西に向かう流れが卓越している。
- ・ また、AB間で2箇所、地下水の凹みが恒常的に認められる。